



箱根町記者発表資料

大涌谷周辺の火山ガス濃度上昇について

本日午前10時12分頃より大涌谷周辺の火山ガス自動計測装置によるガス濃度の計測数値が一時的に上昇し、観光客が建物内に避難をする事象が発生しました。この事象による人的被害はありませんでした。概要は次のとおりです。

1 発生日時

令和3年8月31日 10時11分56秒

2 発生場所

大涌谷園地 極楽茶屋横（火山ガス自動計測装置設置場所）

3 発生時の現場の状況

- (1) 10時11分56秒、二酸化硫黄の瞬間計測値が5ppmを記録し、大涌谷園地に設置された防災行政無線の放送塔から注意情報（近くの建物への避難を促す内容※）が自動で流されました。

「※ 監視所からお知らせします。現在、火山ガス濃度が高くなりました。近くの建物に避難してください。監視員の指示に従い、落ち着いて行動してください。

（日英中韓の4か国語で繰り返し）」

- (2) 園地の火山監視員及び園地事業者はただちに観光客にガス濃度が上昇していることをお知らせし、外にいる人には建物内への避難を誘導しました。なお、自家用車でお見えになっていた観光客の中には、そのまま園地外に避難する方も多数いました。
- (3) 10時30分、観光客33人の建物内への避難が完了しました。
- (4) その後、二酸化硫黄の濃度が低下を続けたため、マニュアルに則り経過観察を行った後、12時00分に注意情報を解除しました。

4 推定原因

当時は東寄りの弱い風が吹いており、瞬間的に発生した濃度の濃い火山ガスが発生源からあまり拡散しないままに移動し、濃度の濃い状態で計測されたものと思われます。こうした現象はあまり観測されるものではないため、原因を調査中です。

照会先

箱根町総務部総務防災課 危機管理官

電話0460-85-9562

E-mail bousai@town.hakone.kanagawa.jp